

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
81	2007/04/03	女性	10歳代	150mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	本年2月27日の早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、上記薬剤を服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。	B-07000121
82	2007/04/03	女性	30歳代	150mg		腎障害	回復	略	B-07000122
83	2007/04/03	男性	10歳未満	150mg		異常行動	回復	インフルエンザに対しリン酸オセルタミビルの投与を開始。同日、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000123
84	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	過去に本剤服用時に異常行動が発現(詳細不明)したことあり。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始し、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000124
85	2007/04/03	女性	80歳代	150mg	塩酸マジピン ピコスルファートナトリウム	幻覚	回復	37.1℃の熱および鼻水あり。インフルエンザA型と判明し、本剤処方。翌日、前日より熱が上がっており37.7℃。昨晩は寝られなかった様で、家族の話では夜中に意味不明の発言をしていたとのこと。	B-07000126
86	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4)	血小板減少症	未回復	略	B-07000127
87	2007/04/03	女性	10歳未満	33mg		異常行動	記載無し	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動(急にかけだし意識消失して眼が上転し転倒)。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになってたおれた。	B-07000128
88	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	酒石酸ゾルピデム フルバスタチンナトリウム ピコスルファートナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム テプレノン	異常行動	回復	患者がインフルエンザの検査を拒否したが、リン酸オセルタミビル処方。翌日、通勤する際、車で自損事故を3回繰り返した。来院し、インフルエンザの検査を実施したところ陰性。	B-07000129

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
89	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セチリジン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。熱いと言ひ、ベランダに出ようとした。異常行動発現。異常行動回復。	B-07000130
90	2007/04/03	女性	10歳代	65mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトルファン	多幸気分 妄想 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現(重篤度不明)。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現(重篤度不明)。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。その帰宅途中にガードレールを超えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。	B-07000131
91	2007/04/03	男性	80歳代	不明		血小板減少症	未回復	略	B-07000132
92	2007/04/03	男性	20歳代	150mg		譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。翌々日、意識もうろう、うわ言軽快。	B-07000133
93	2007/04/03	女性	20歳代	150mg		肝障害	不明	略	B-07000134
94	2007/04/03	男性	10歳未満	102mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かにおびえる様子。異常行動発現。38℃台。2日後、異常行動回復。	B-07000135
95	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。	B-07000136
96	2007/04/03	男性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与終了2日後、意識障害、痙攣発現。同日、回復。	B-07000148
97	2007/04/03	男性	50歳代	150mg		交通事故	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方される。翌日、自動車を運転中、道路横の標識ポールに激突し胸部打撲。(エアバッグ作動)患者は衝突のことを覚えていないとのこと。	B-07000149
98	2007/04/03	男性	20歳代	不明	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル処方。発熱38℃。夜、本剤服用3時間後、「死神が見える」と訴える。幻覚発現。翌日、インフルエンザ脳症の疑いで、入院。	B-07000150

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
99	2007/04/03	男性	20歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000151
100	2007/04/03	女性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	40.5℃の発熱と腹痛のため、母親同意の下、リン酸オセルタミビル処方。一回目の本剤服用約1時間後、いびきをかいて寝ているような状態であったため、心配になって確認したところ、口から泡を吹いているような状態で、再受診。その際、顔は真っ青で、唇はチアノーゼがでていたとのこと。再受診の際は、目は開けているがぼんやりとしており、両親の問いかけにも反応が悪かったとのこと。けいれんが見られており、抗けいれん薬などの処置により回復。	B-07000152
101	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール エバステン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害(非重篤)発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベットで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2~3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。	B-07000153
102	2007/04/03	男性	成人	300mg		視覚障害	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビルを2日間服用。3日目朝、出勤中に交通事故を起こした。右折時に左から来た自転車に気づかず衝突。視野傷害発現。2日目よりなんとなく視野がおかしかったとのこと。視野傷害回復。	B-07000154
103	2007/04/03	女性	50歳代	75mg	アセトアミノフェン	自律神経失調 意識消失	軽快 不明	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る、顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常(非重篤)、意識消失(重篤度不明)発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。夫が発見時、大きないびきをかいていた。	B-07000155
104	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。	B-07000156
105	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。熱せん妄発現。見えないものが、見えるとおびえていた(40.5℃。)翌日、熱せん妄回復。5日目、本剤投与終了。	B-07000157

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
106	2007/04/03	女性	30歳代	不明	アセトアミノフェン	白血球数減少	軽快	略	B-07000158
107	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	レボチロキシナトリウム フロモキシセフナトリウム	チアノーゼ	回復	略	B-07000159
108	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	臭化水素酸デキストロトルファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン	意識消失	軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で大学病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。	B-07000160
109	2007/04/03	女性	10歳代	不明		痙攣	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。翌日、本剤内服1時間後にけいれん発現。本剤投与中止。	B-07000161
110	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	本年2月3日、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。異常行動(飛び降り)発現。投与5日後、本剤投与終了。1ヵ月半後、異常行動回復。	B-07000162
111	2007/04/03	男性	10歳代	100mg	ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ブドウ糖 塩酸レセルピリン酸ジメチルアミノエチル	異常行動	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。	B-07000163
112	2007/04/03	男性	10歳未満	130mg		痙攣	軽快	インフルエンザウイルス感染治療の為、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日、けいれん、自動運動発現(非重篤)。同日軽快。	B-07000164
113	2007/04/03	男性	40歳代	不明		急性腎不全	不明	略	B-07000165

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
114	2007/04/03	女性	10歳代	60mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビルを処方され、同日夕方、1回内服するが症状なし。翌日朝、本剤内服。その2時間半後、体が熱い症状訴える。その後母親が目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていた。患児の姉が気付き止めた為大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱はまだ40℃ほどであった。本剤投与中止。同日、異常行動回復。	B-07000166
115	2007/04/03	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39℃の発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9℃、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。グル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり、気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。	B-07000195
116	2007/04/03	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンブロキシソール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物 アセトアミノフェン	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、リン酸オセルタミビルを本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン3A+2A静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。	B-07000196
117	2007/04/03	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、救急車は使わず、自家用車にて来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。	B-07000198
118	2007/04/03	女性	60歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4)	血便排泄	軽快	略	B-07000199
119	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言い意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣(非重篤)を起こしたが、数分で回復。	B-07000200

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
120	2007/04/03	男性	不明	150mg		譫妄 痙攣	不明 不明	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。翌朝服用後、突然うわ言、痙攣発現。そのまま寝てしまう。夕方、回復し、本剤を服用すると再び同じ症状出現。本剤服用中止。	B-07000201
121	2007/04/03	男性	10歳代	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。	B-07000202
122	2007/04/03	女性	30歳代	75mg		自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。	B-07000204
123	2007/04/03	女性	60歳代	75mg		意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。	B-07000205
124	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。	B-07000206
125	2007/04/03	女性	60歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) dl-塩酸メチルエフェドリン 臭化水素酸デキストロメトルファン	出血性腸炎	回復	略	B-07000207
126	2007/04/03	男性	20歳代	不明	非ピリン系感冒剤(4) テブレノン 臭化チキジウム	異常行動	回復	インフルエンザ検査は陰性であったが、発熱38.2℃。インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。服用30~40分経過後に車で帰宅。運転中に突然、脱力感を感じハンドル、ブレーキの操作も出来ない状態になった。10分後、回復。翌日、本剤を服用したが特に症状はなし。	B-07000208
127	2007/04/03	男性	青少年	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。	B-07000209

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
128	2007/04/03	女性	60歳代	150mg		発疹	回復	略	B-07000210
129	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		自殺企図	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。服用開始4日後、服用中止。	B-07000211
130	2007/04/03	不明	90歳代	150mg		間質性肺疾患	不明	略	B-07000212
131	2007/04/03	男性	30歳代	不明		双極性障害	不明	インフルエンザ治療のために、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、不安感、孤独感が発現。5日間服用したが、その後、虚脱感、体に入力が入らない、尿の回数が2回/日に減少し、精神科を受診。軽躁状態、双極状態と診断され、それ以降、精神科から投薬を受けている。現在、服用の薬剤はフマル酸クエチアピン、炭酸リチウム、カルバマゼピン、ニトラゼパム。	B-07000213
132	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	セフボドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。	B-07000214
133	2007/04/03	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、二階へかけ上がる等の異常行動発現。	B-07000215
134	2007/04/03	男性	30歳代	不明		異常行動	軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。	B-07000216
135	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型陽性にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がボーとするとした自覚症状を訴えた。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。	B-07000217

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
136	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。	B-07000218
137	2007/04/03	男性	20歳代	150mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。	B-07000226
138	2007/04/03	女性	青少年	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。トイレの前で急に倒れ、異常行動発現。近くの救急病院で点滴。	B-07000227
139	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザにより、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、服用後、トイレにて倒れていた。2～3分で意識が回復した。	B-07000228
140	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ	幻覚 幻視	軽快 軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発言。翌朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。	B-07000229
141	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。死亡(詳細不明)。	B-07000230
142	2007/04/03	女性	50歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。	B-07000231
143	2007/04/03	男性	90歳代	150mg		間質性肺疾患	未回復	略	B-07000232
144	2007/04/03	不明	10歳未満	不明		肝機能異常	未回復	略	B-07000239

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
145	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。	B-07000240
146	2007/04/03	男性	10歳未満	96mg	塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシール 塩酸クロフェダノール ロキソプロフェンナトリウム	譫妄	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。	B-07000241
147	2007/04/03	女性	10歳代	不明		脳梗塞	不明	略	B-07000242
148	2007/04/03	男性	10歳未満	不明	テオフィリン برانلカスト水和物 ツロブテロール	意識消失	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用1時間後、突然笑い出すが、しばらくして消失。再度、本剤及び他薬剤を服用後、両眼球が左上向きになり、口をパクパクして、呼びかけにも応じず、唇の色が悪くなったので、指を口の中へ入れて吐かせる等の対応をした。	B-07000243
149	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加)(2-2)	錯乱状態	不明	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、午後より、訳のわからないことを言い始める。投与5日目、錯乱状態。	B-07000244
150	2007/04/03	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。	B-07000245
151	2007/04/03	女性	10歳未満	不明		頻呼吸 冷汗	不明 不明	略	B-07000255
152	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。投与4日目、意識レベルの低下発現。	B-07000256

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
153	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。	B-07000257
154	2007/04/03	女性	40歳代	不明		低血糖症	不明	略	B-07000258
155	2007/04/03	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	B型インフルエンザとキット診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。	B-07000259
156	2007/04/03	女性	10歳代	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。	B-07000260
157	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。	B-07000261
158	2007/04/03	女性	10歳未満	42.6mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。	B-07000262
159	2007/04/03	男性	50歳代	150mg	酒石酸ゾルピデム アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸押せるタミビル投与開始。翌日、幻覚、異常行動発現。本剤投与中止。自宅にて発現したため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査のため入院。結果は脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。	B-07000263
160	2007/04/03	男性	50歳代	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- -グルタミン	異常行動	不明	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。	B-07000264

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
161	2007/04/03	不明	10歳未満	不明		低体温	不明	略	B-07000266
162	2007/04/03	男性	10歳代	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。 服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。 服用中止翌日、うわごと軽快。	B-07000267
163	2007/04/03	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。	B-07000268
164	2007/04/03	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5℃。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。 剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリエージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。	B-07000269
165	2007/04/03	女性	10歳未満	18mg		痙攣 発育遅延	回復 不明	インフルエンザワクチン接種後、感冒様症状出現。ワクチン接種翌日、感冒様症状は軽快。ワクチン接種4日後、再び感冒様症状あり、迅速検査でインフルエンザ陰性。対症療法薬剤を1~2回服用。再度、感冒様症状発現から2日後、38.6℃発熱。リン酸オセルタミビルを服用。本剤服用約20分後、脱力、意識消失、チアノーゼ、痙攣を生じた。本剤服用45分後頃、A病院にて間代性けいれん、意識障害に対しジアゼパムを投与。10分後、痙攣が止まる。約90分後、意識清明、神経学的異常なし。その後は服用なし。5日後、下肢機能不良。発達障害あり。	B-07000270

リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
166	2007/04/03	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。	B-07000271
167	2007/04/03	男性	10歳代	120mg	塩酸エプラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。	B-07000272
168	2007/04/03	男性	10歳未満	96mg	維持液(3) ヘパリンナトリウム	肺炎 胸水 無気肺	軽快 軽快 軽快	略	B-07000273
169	2007/04/03	男性	10歳代	116mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39℃の発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤臭化水素酸デキストロメトर्फアン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ惚る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用7時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。	B-07000274